

各派の選挙費用

政黨各派の選挙費用は計からずと雖も巷間傳ふる所は依れば憲政會、三万円、政友會六万円と称せらるが民衆黨の選挙費用は次表の如くである。

項目	金額	細目
宣傳費	四九九・三五	會場費、準備費、交通費等
印刷費	二八七・七〇	演説會用、ボスター、新聞、外報、投票券、推薦ボスター等
事務費	二一七・八三	事務所借入費、交通費、事務費、備品代、電話、電報料等
合計	一〇、四、八八	

結党員自身にて自費で支出したる金額の多寡は別、費用は水共之下記載せず

前記の費用は全部黨員の持ち寄りである。

開票の結果は予期通り、政友派の大勝に期したが、今回の選挙で特筆すべき事は各派が選挙戦に主力を注ぎ出した事である。憲政、政友派が中央より海部一派を主とする多額の資金を得て、一團内主戦地方民の事大思想に迎合し各市町村の殆ど全部を占領し、候補に全力を注いだ。其の最大主戦は、海部一派の意見も、彼等が如何に此の補選に全力を注いだか、観察する事から出来る。殊に、海部一派は、選挙戦の日に熱化すると、あつた、戸別訪問、宣傳ボスター、採利と選挙戦の日熱化すると、従つて両派が期せずして此の禁を破りて猛烈に取行したのには、ブルジョア根性を有する選挙戦の性質からいへば、当然である。

此の兩派の劇烈なる争奪戦の中、言論戦のみならず、堂々或十回に亘り演説會を開催し、然も何れか地に於ても彼等、演説會に比して競氣が鋭い。今、海部一派の演説會及び地方選挙を説き及ぶ次々如くである。

月日	演説會名	場所	人数
九月廿四日	八幡市	八幡市	六〇〇名
廿五日	八幡市	八幡市	八〇〇名
廿六日	八幡市	八幡市	六〇〇名
廿七日	八幡市	八幡市	四〇〇名
廿八日	八幡市	八幡市	四〇〇名
廿九日	八幡市	八幡市	四〇〇名
十月一日	八幡市	八幡市	四〇〇名
十月二日	八幡市	八幡市	五〇〇名

開演人数 一万八千六百